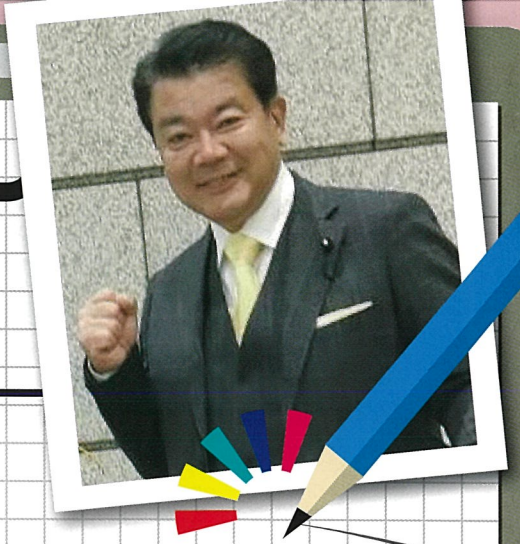


2025. 4

埼玉民主フォーラム

15



埼玉県議会議員

小川ひさし県議会レポート

特集

大宮工業高等学校と浦和工業高等学校を
統合し大宮科学技術高等学校へ

県議会「令和7年2月定例会」において、県立大宮工業高校と県立浦和工業高校を統合して新設される学校の名称を「大宮科学技術高校」とする条例案が可決されました。

基本的枠組み

◆「大宮科学技術高校」【出典：大宮工業・浦和工業高校(仮称)基本計画】◆

- (1) 設置場所：さいたま市北区本郷町1970番地（現在の大宮工業高等学校の場所）になります。
- (2) 課程・学科等：全日制課程の工業に関する学科（機械工学科、電気工学科、建築デザイン工学科、ロボット工学科）及び情報に関する学科（情報サイエンス科）の併置校とし、学年制とするとしています。

ここが
目玉

「情報サイエンス科」が2クラス規模で併置されます。

- (3) 開校時の募集人員＜全日制課程＞：機械工学科 80人 / 電気工学科 40人 / 建築デザイン工学科 80人 / ロボット工学科 40人 / 情報サイエンス科 80人

ここが
目玉

産業界と一体となったカリキュラムの刷新・実践や、企業等の技術者・研究者等による授業や実習を実施するなどして、先端産業分野で活躍できる人材を育成していくとしています。

- (4) 開校年度等：開校は令和8年度になります。



浦和工業高校の跡地にさいたま市初の さいたま市立知的障害特別支援学校の設置へ

さいたま市内の子どもたちは、国立の埼玉大学教育学部附属特別支援学校、さいたま市立ひまわり特別支援学校、さくら草特別支援学校の他、9校の県立特別支援学校に通学しています。



特別支援学校の設置義務は都道府県にあり、埼玉県に設置義務があります。しかし、現在、さいたま市の子どもたちが通う県立の知的障害特別支援学校は、受入規模を大きく上回る過密状況となっており、一つの教室を二つの教室に分けて使うなど教育環境の改善が喫緊の課題となっています。そこで、かねてより保護者の皆さんなどから、さいたま市立の知的障害特別支援学校の新設を求める要望が出されていました。



大宮北特別支援学校視察

埼玉県とさいたま市の連携により「さいたま市立特別支援学校の設置」へ

2月定例会で県議会、市議会においてもこの件について質問がありました。

埼玉県

浦和工業高校の跡地を活用して市立特別支援学校の設置を市に提案。



さいたま市

清水市長は施政方針の中で「知的障害のある児童生徒の教育環境を向上させるため新たな市立知的障害特別支援学校の整備を検討する」との考えを明らかにしました。



大宮北特別支援学校の保護者の皆さん

私たちは、県議会の代表質問の中で、さいたま市立の特別支援学校設置に向けて、浦和工業高校跡地の活用や教員の人事交流など、さいたま市に最大限の支援、協力をしていくことを県に強く求めました。



小川ひさし（立憲民主党埼玉第5区総支部幹事長） プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
（～4年6カ月間の内弟子修行）
1987年 参議院議員西川きよし秘書（私設）
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

趣味：3人の孫たちと遊ぶこと

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索



<https://ogawa-hisashi.jp/>

2025. 5

(19)

埼玉民主フォーラム



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

埼玉県議会2月定例会において可決・成立し、令和7年度埼玉県予算で新たに創設されることになった事業の中から子育て支援に関する事業について報告いたします。

特集
1

小1の壁・朝の子どもの居場所について

「小1の壁」とは、共働き世帯が子どもを小学校に入学させる際に直面する問題のことです。特に朝の時間帯に子どもを預ける場所がないことが大きな課題となっています。いくつかの自治体では、この問題を解決するための取り組みが行われています。



例えば、

大阪府豊中市は令和6年4月から、朝早く出勤する共働き世帯などのニーズに対応するため39ある全ての市立小学校で、**午前7時に校門を開けて登校時間まで児童を体育館などで見守る**事業を始めました。

豊中市の関連費用は、**約7千万円**とのことです。

さいたま市を含む埼玉県内においても同様のニーズは少なくありません。

埼玉県議会においても昨年12月定例会一般質問において、我が会派所属の**泉津井京子議員**が、県の取り組みを求める質問をしました。

その結果埼玉県は、

令和7年度予算において、**県としては初めての取り組みとなる「朝の子どもの居場所づくり事業」**を創設しました。令和7年度は志木市においてモデル事業を実施します。



一時保護施設に入所している子どもたちの通学支援について

一時保護所

一時保護所は、児童相談所に付設されており、保護が必要な子どもを一時的に保護するための施設です。児童虐待や家庭の事情など、さまざまな理由で子どもが一時的に安全な場所で過ごす必要がある場合に入所する施設で、埼玉県内の定員数は180人(さいたま市は44人)となっており、その入所期間の長期化が課題となっています。

また、児童の安全確保やプライバシーへの配慮などによって、学校に通うことができない状況にある子どもたちが多くいます。

一時保護所における通学支援事業

私は、昨年の少子・高齢福祉社会対策特別委員会において「一時保護所に入所している子どもたちが学校に通うことができるよう環境整備を図ること」についての提言を行いました。



令和7年度予算において

「一時保護所における通学支援事業」を新規に創設しました。

一時保護所の入所期間をできる限り短くすることと合わせて、その期間中においても学校に通学できる環境の整備に取り組んで参ります。

一時保護所入所児童の権利擁護

【予算額】5,248千円

新規

担当 児童安全課 児童虐待対策担当
内線 3324

目的

一時保護所に入所中の児童の通学を支援することで、学校に在籍している児童が適切な教育を受けられるとともに、教員や友人との関係をはじめとした社会とのつながりが維持されることで、健全な成長と精神的な安定が図られるなど、児童の最善の利益を守ることを目的とする。

事業概要

1 一時保護所における通学支援事業

5,248千円

(1) 一時保護所から学校への送迎等を行う付添協力員(会計年度任用職員)の配置(新規) 5,248千円

- 入所児童の学校への送迎の付添い(公用車の運転を含む)
- 学校との連絡調整
- 登下校前後の準備等の個別支援

事業イメージ

南児童相談所(川口市・戸田市・蕨市を管轄)においてモデル実施

【通学の対象となる児童】

- 管内に原籍校がある小学生以上の児童のうち、以下の条件を満たす者
- 児童に通学の意思があること
- 親権者等による連れ戻しの危険や逃亡のおそれがないこと 等



出典 埼玉県令和7年度予算資料

小川ひさし(立憲民主党埼玉第5区総支部幹事長) プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(~4年6カ月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

趣味: 3人の孫たちと遊ぶこと

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索



https://ogawa-hisashi.jp/

2025. 8

埼玉民主フォーラム

45



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

特集

医療的ケア児の学校給食はみんなと同じ!

6月18日(水)



埼玉県議会本会議において、大野知事などに一般質問を行いました。

今回の質問に向けて、日ごろより多くのご意見やご要望をお聞かせいただいている中から、できる限り早急な対応が必要と考える課題について質問しました。その中から、医療的ケア児の保護者からお聞かせ

頂いた「**学校給食でペースト食を認めてもらいたい!**」

について報告いたします。

医療的ケア児支援勉強会



「我が家の小学校3年生の娘は、医療的ケアを必要としており、埼玉県立の特別支援学校に通っています。娘は、胃ろう(お腹に穴をあける)から、食べ物を注入しています。家庭では、できるだけ家族と同じ

食べ物をペースト状にして、シリンジ(注射器)で注入しています。ところが、埼玉県立の学校では教職員によって栄養剤が注入されています。ただ、私たち保護者が学校に行って直接シリンジ注入する際のみ認められています。他の都道府県では、保護者でなくても教職員が対応してくれています。」

ご意見・ご要望の内容

ぜひ、埼玉県立特別支援学校でも保護者が行くことができなくてもペースト食の給食対応が実施されますよう取り組んでください。我が子が3歳の時にお腹に穴をあける手術をしました。とても辛いことでしたが、美味しいものをいっぱい食べさせてあげたいとの思いで決断しました。



医療的ケア児支援勉強会



裏面へ



この問題について、どのように対応したの？

保護者が給食時間に学校へ行って、ペースト食を食べさせている場に同行しました。当日の、給食メニューは、スパゲティーや野菜スープ、デザートはメロンでした。このメニューにできるだけ近いナポリタンの具や野菜スープ、メロンゼリーのペースト食が準備されていました(写真は、当時のペースト食と注入用のシリンジです)。お母さんは、少量のペースト食をスプーンにのせて、お子さんの口元に触れながら、ひとつひとつの食べ物を説明していました。そして、シリンジで胃ろうに注入します。

お子さんの様子はどうでしたか？

とっても、素敵な表情をされていました。



保護者が学校に行けない場合はどうしているの？

保護者以外の教員等が行う場合は、**固形栄養剤**が注入されます。



写真出典 神奈川県立こども医療センター

近隣自治体の対応は？

神奈川県では、平成31年にガイドラインを作成して、学校の教職員がペースト食を注入しています。その他、東京都、千葉県、静岡県でも教員などによって、ペースト食をシリンジによって注入されていることを確認しました。

埼玉県の課題は？

小川 寿士氏
(民主フォーラム、さいたま市北区)

【質問】医療的ケア児の給食について、食事を粒のないペースト状にして胃ろうからシリンジで注入する方法が注目されている。関東近隣自治体では、神奈川県、東京都、静岡県、千葉県で実施され、学校の教職員が対応している。県では、医療的ケア実施ガイドラインにシリンジ注入に関する具体的な指針が示されておらず、個別に対応を検討し、実施が難しい場合には、保護者に対応をお願いする必要がある。埼玉県の子どもたちについても、学校の教職員によ



お母さんの願いを
実現へ！

埼玉県には、ペースト食のシリンジ注入についてのガイドラインがありません。

まずは、実施自治体の事例を参考として、ガイドラインの策定が必要です。今回の本会議では、このガイドラインの策定を日吉教育長に求めました。教育長は、埼玉県において学校教職員によって、ペースト食のシリンジ注入が実施できるようにガイドラインをも策定する。そのため、給食室での衛生的な調理体制などを確立していくと答弁しました。

医療的ケア児の給食支援

【日吉教育長】医療的ケア児が同じクラスの児童生徒と同じメニューの学校給食を食べることは、食育の観点からも意義があると考えている。シリンジ注入による給食を安心安全に提供するために、給食室での衛生的な調理体制の確立、施設設備の整備、注入を担う学校職員の技術向上、人員の確保が必要。今後、これまでの実施事例や近隣自治体の取り組みを参考にしながら、安心安全なシリンジ注入の方法についてガイドラインに位置付けていく。医療的ケア児の状況や学校の実施体制などの課題を検討し、スピード感を持って取り組む。

は。シリンジ注入を実施できるように、県教育委員会としてガイドラインの策定に取り組む必要があると考える。教育長の見解

小川ひさしプロフィール

2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選

2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
住所 〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102
TEL 048-669-7270
メール info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索

<https://ogawa-hisashi.jp/>